

## 令和7年度千葉県後発医薬品安心使用促進協議会開催結果

- 1 日時  
令和8年2月3日（火）午後1時30分から午後3時10分まで
- 2 開催方法  
オンライン開催（WEB会議システム Zoom 使用）
- 3 出席委員（計15名）  
師尾郁委員、佐藤勝巳委員、宮内義浩委員、永瀧嘉嗣委員、萩谷茂良委員、小堀伸忠委員、佐藤信範委員、依光道代委員、小高康幸委員、佐藤信行委員、郡司文夫委員、青柳誠委員、小野健一委員、香取良久委員、出浦和彦委員
- 4 議事概要
  - (1) 本県の後発医薬品安心使用促進事業の取組状況について  
ア 千葉県健康福祉部薬務課  
《説明内容》
    - (ア) 後発医薬品等に係る厚生労働省及び県の施策
      - ・第4期千葉県における健康福祉の取組と医療費の見通しに関する計画（医療費適正化計画）における後発医薬品の金額シェアの新目標について
      - ・医療用医薬品等の安定供給体制の強化に係る薬機法改正について
      - ・経済財政運営と改革の基本方針（いわゆる骨太方針2025）について
    - (イ) 本県での後発医薬品及びバイオ後続品の使用状況
      - ・後発医薬品の数量シェア及び金額シェアについて
      - ・バイオ後続品に80%以上置き換わった成分数の割合について
      - ・バイオ後続品の数量シェア及び金額シェアについて
    - (ウ) 本県の後発医薬品安心使用促進事業に関する取組
      - ・バイオシミラーオンデマンド講習会の配信とアンケート結果について
      - ・ジェネリック医薬品・バイオシミラーQ&A集の作成について
      - ・バイオ後続品使用促進に係る委託事業について
    - (エ) フォーマュラリ
      - ・地域フォーマュラリの策定状況に係る国の調査結果について  
  - 《主な発言内容》
    - 【質問】**  
数量シェアと金額シェアの割合が乖離する理由は何か。また、バイオ後続品の指標が伸びにくい背景は何か。
    - 【回答】**  
金額シェアは先発医薬品の薬価が高いことにより数量シェアより低い割合となる。バイオ後続品は新規成分や流通状況の影響を受けることが指標が伸びにくい一因と考えている。
    - 【要望】**

地域フォーミュラリについて、他県の公表事例や成果、検討の進め方等の情報提供を求める。

**【回答】**

今後も情報収集を行い、入手できた情報は提供する。

**【意見】**

地域でのフォーミュラリの展開に当たっては、薬剤選択の優先順位付け等、調整が難しい面があり慎重な運用が必要と考える。

**【意見】**

後発医薬品の供給状況が日々変動しており、希望する薬剤が確保できない場合がある。

**【要望】**

県として普及目標や年度計画、地域フォーミュラリの推進方針の見通しを示してほしい。

**【回答】**

医療費適正化計画に基づく目標を踏まえつつ、国の動向を見ながら対応していく。

**【要望】**

効果・安全性への信頼と、供給不安定への懸念、用語を含めた分かりやすい周知をお願いします。

**【回答】**

今後、バイオ後続品を中心に現状の調査分析を進め、課題を整理し、結果を共有していく。

(2) 各団体における取組状況等について

ア 千葉県薬剤師会

《説明内容》

- ・出荷調整に伴う調剤業務への影響について
- ・地域の医薬品提供体制強化に向けた取組について

イ 千葉県民間病院協会

《説明内容》

- ・後発医薬品の安定供給の確保への要望について
- ・高齢者にも分かりやすい周知資材の整備について

ウ 千葉県医薬品卸協同組合

《説明内容》

- ・出荷調整を契機とした欠品の連鎖等、安定供給確保上の課題について
- ・出荷調整発生時の情報提供への協力要請について

エ 日本ジェネリック製薬協会

《説明内容》

- ・安定供給と信頼回復に向けた取組の説明について
- ・供給不安の現状及び要因について
- ・行政処分事例や制度動向等の情報提供について

オ 千葉県国民健康保険団体連合会

《説明内容》

- ・被保険者向け差額通知による周知啓発の取組について
- ・保険者向けデータ提供（利用実態、削減可能総額等）について
- ・差額通知の分かりやすさ向上に向けた検討について
- ・バイオ後続品の周知啓発方法の検討について

カ 全国健康保険協会千葉支部（協会けんぽ千葉支部）

《説明内容》

- ・協会けんぽにおけるジェネリック医薬品使用割合の状況について
- ・広報および薬局支援（見える化ツール、医薬品実績リスト等）の取組について
- ・バイオ後続品（バイオシミラー）使用促進の取組について
- ・地域フォーミュラリに関する分析および情報提供の取組について

キ 健康保険組合連合会千葉連合会

《説明内容》

- ・関係団体連名による広報活動の取組について
- ・PHR プラットフォームを活用した差額情報の周知の取組について

ク 公立学校共済組合千葉支部

《説明内容》

- ・自己負担差額通知の送付について
- ・広報誌等による周知について

ケ 千葉県後期高齢者医療広域連合

《説明内容》

- ・通知物等への掲載による周知について
- ・後発医薬品利用差額通知の取組について
- ・新規加入時等の配布物（希望カード・シール等）による周知について
- ・広報誌・ガイドブック等による周知について

コ 千葉市保健福祉局医療衛生部健康保険課

《説明内容》

- ・差額通知の取組について
- ・案内文書・国保のしおり・市ホームページ等による周知について
- ・資格情報通知書への希望カード追加による周知について

《主な発言内容》

【意見】

後発医薬品を使用したくても供給が追い付かない場面があり、安定供給の確保が使用促進の前提である。

【意見】

高齢者等に対しては、用語や制度を含め、分かりやすい周知が必要である。

【意見】

地域フォーミュラリの策定には、医師会、薬剤師会、病院、薬局、保険者等の多職種・多機関の協働・連携が重要である。